

# 平成 26 年度（第 5 期）事業報告

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

## 目 次

1. 株式会社の現況に関する事項	
(1) 事業の経過及びその成果 .....	1
(2) 取り組んだ主な事業 .....	1
(3) 対処すべき課題と今後の方向性 .....	3
(4) 資金調達等の状況 .....	3
(5) 設備投資の状況 .....	3
(6) 主要な事業内容 .....	3
(7) 主要な営業所 .....	4
(8) 使用人の状況 .....	4
2. 株式に関する事項 .....	4
3. 役員に関する事項 .....	5

## 1 株式会社の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果

当期における我が国の経済状況は、個人消費の持ち直しの動きに若干の足踏み感があるものの、円安と株高基調が進み、全体としては緩やかな回復傾向が持続し、雇用や企業収益などを中心に、経済の好循環が生まれ始めてきたといわれています。

札幌市においても、雇用情勢の回復の兆しや観光客の増加など明るい兆しが見えつつあるといわれていますが、この状況にある今こそ、将来の都心のまちづくりについて検討を重ね、取り組みを始める必要があると考えています。

このような状況の中、当社は、平成 23 年 3 月 12 日に開通した札幌駅前通地下歩行空間（「チ・カ・ホ」）の「地下広場」の指定管理者として、その管理・運営を行ってまいりました。平成 26 年度は、指定管理者の更新時期でありましたが、これまでの実績を高く評価していただき、引き続きその任を担ったところです。また、昨年 7 月から、地上の「札幌市北 3 条広場」（「アカブラ」）の指定管理を受託し、地上・地下一体となった広場の利活用による“賑わいの創出”、“都心の回遊性の向上”に努めてまいりました。

「チ・カ・ホ」においては、広場の貸出度合を示す稼働率は、平均で約 95%にも上り、前年度を上回る高い実績を得ることが出来ました。特に、当広場は“札幌国際芸術祭 2014”の会場になり、たくさんのアート作品が展示され、市民に喜んでいただきましたが、この空間が持つ“単なる歩行するための空間ではなく、都心の生活を楽しむといった目的に対しても活用でき得る”といった特徴が顕著に現されたものと考えています。

また、昨年 7 月より指定管理を受けた「アカブラ」は、市民に親しまれている「道庁赤れんが庁舎」や「イチョウ並木」といった景観に配慮しつつ、市民や企業、行政の方々と共に「音楽」や「食」のイベントを数多く行い、都心の貴重な広場としての活用を図ってまいりました。

これらのことから、当社の行った事業が、都心を訪れる市民の増加や大通地区と札幌駅前地区の回遊性の向上などに寄与しているものと考えているところです。

また、今期の事業収益については、前述した広場稼働率の高さや広場壁面を活用した広告掲出事業が順当に伸びたことから、純利益金額は 22,309 千円となり、4 期連続の黒字となりました。

### (2) 取り組んだ主な事業

#### ① 札幌駅前通地下広場（「チ・カ・ホ」）の管理・運営

札幌市および関係機関と広場の運営・管理についての協議を行いながら、以下の事業を行い、都心の賑わいの創出等に努めました。

#### ● 文化の発信および賑わい創出のための企画・運営

・「創造都市さっぽろ」の推進

アート展（PARC、学生展、つながろう展等）の開催

- ・市民活動の促進
  - 市民活動促進 PR イベント・ワークショップの開催、募金活動
- ・「都心の回遊性、活性化」の促進
  - チカチカ☆パフォーマンススポットの実施、kurache（クラシェ）の開催、チ・カ・ホ音楽ライブ（クラシック、ジャズ等）の開催、
  - 「チ・カ・ホ詳細 MAP」の制作・発行
- ・「都心ビジネスパーソンへの快適な日常」の提供
  - 休憩スペースの充実化、「チ・カ・ホ wi-fi」の設置・運用
- ・「さっぽろ・北海道の魅力発信」の推進
  - 道内観光・魅力発信 PR 展の実施、
  - 北海道インフォメーションボードの設置・運用
- ・「季節等のイベント」の実施・協力
  - 札幌デザインウィーク、菊まつり、札幌アートステージ
  - さっぽろ雪めぐり回廊、チ・カ・ホのお正月

● 広場の貸出サービス

“交差点広場”や“憩いの空間”の貸出し促進及び活用支援

● 環境等の配慮

案内所の設置（ビッグイシューと連携）、植栽の設置、  
周囲のデザインに適合した“デザインテーブル”の制作・貸出

● 運営・管理についての協議

札幌駅前通地下広場運営協議会等

② エリアマネジメント広告

「チ・カ・ホ」の壁面を活用して企業等の広告を掲出。賑わいの創出に努めました。

- 広告稼働率：短期枠（1週間単位）…実績 90%（目標 30%）  
長期枠（半年単位）… 実績 100%（目標 75%）  
（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

③ 札幌市北 3 条広場（「アカプラ」）の管理運営

「道庁赤れんが庁舎」や「イチョウ並木」の景観に配慮しつつ、地上の賑わいの拠点としての活用を図りました。

● 景観に配慮した広場の活用検討・実施

- ・「アカプラ利用の手引き」の作成
- ・道産木材を活用したイベント用仮設店舗の検討・制作
- ・「サッポロフラワーカーペット 2014」の開催、
- ・「フェスティバル FUKUSHIMA! 北 3 条広場で盆踊り」の開催

● 地域資源を活用した文化の発信（「創造都市さっぽろ」の推進等）

- ・さっぽろユキテラスの開催

#### ④ 札幌駅前通地区のまちづくり

- ・ 地域企業や関係する行政が協力して話し合いまちづくりを実行する「札幌駅前通地区活性化委員会」の設置・運営
- ・ 地域情報誌「sapporo 駅前十街区」の発行
- ・ 札幌駅前通の放置自転車対策を兼ねた「フラワープランター」の設置
- ・ 都心の新たな交流の「場」となる眺望ギャラリー「テラス計画」の運営

#### (3) 対処すべき課題と今後の方向性

当社が目的とする「都心の賑わいづくり」、「文化の香りがする都心づくり」、「市民協働の推進」、「駅前通地区・札幌・北海道の魅力発信」を行うためには、「チ・カ・ホ」ばかりではなく、地上部の賑わいの創出や駐輪対策など、「まちづくり」全般に関して地上・地下一体となった対応が求められます。

このような観点から、「チ・カ・ホ」及び「アカプラ」の有効活用を図るとともに、地域全体のまちづくり課題を見据えて、地域の関係者から構成される「札幌駅前通振興会」等との連携を深め、目的の達成につながる地域イベントの実施や環境美化、安心安全なまちづくり活動に努めたいと考えています。

また、当該事業の実施に際しては、会社の適切な運営、収益の安定化が求められることから、これまで以上に経費の省力化、業務効率の向上などに努めてまいりたいと考えています。

#### (4) 資金調達等の状況

該当事項はありません

#### (5) 設備投資の状況

当期の設備投資の状況は、総額で 23,220,000 円となりました。

イベント等で販売や飲食の提供に活用する仮設建築物 7 棟の制作費が 22,680,000 円、当該設計費が 540,000 円となっております。

#### (6) 主要な事業内容

- ・ 札幌駅前通地区でのまちづくり活動及び札幌都心部他地区におけるまちづくり活動との連携調整に関する業務
- ・ 札幌駅前通地下歩行空間（地下広場）および札幌市北 3 条広場の管理運営の受託に関する業務
- ・ 地域の活性化を図るための事業企画、立案、コンサルティングおよびその受託に関する業務

(7) 主要な営業所

本社 札幌市中央区北3条西3丁目1番地 札幌大同生命ビル10F

(8) 使用人の状況

平成27年3月31日 現在

使用人	平均年齢	平均勤続年数
10人	40歳	3年3ヶ月

2 株式に関する事項

- (1) 発行可能株式数 1,000株
- (2) 発行済株式の総数 198株
- (3) 当事業年度末の株主数 17名

### 3. 役員に関する事項

平成 27 年 3 月 31 日 現在

役職名	氏名	他の法人等の代表状況
代表取締役副社長	中村 達也	株式会社敷島屋 代表取締役社長
取締役	柴田 隆行	株式会社伊藤組 代表取締役副社長
取締役	加藤 俊郎	株式会社加藤物産館
取締役	石塚 雅明	株式会社石塚計画デザイン事務所 代表取締役
取締役	白鳥 健志	札幌駅前通まちづくり(株) 総務部長兼営業部長
監査役	小林 良輔	株式会社北洋銀行 常務執行役員
監査役	広部 公聡	株式会社北海道銀行 地域振興・公務部長

注) 1 (代表取締役副社長) 中村達也氏、(取締役) 柴田隆行氏、加藤俊郎氏、石塚雅明氏は、会社法第 2 条第 15 号に定める社外取締役です。

2 (監査役) 小林良輔氏、広部公聡氏は、会社法第 2 条第 16 号に定める社外監査役です。